わいわい CLUB

Let's enjoy reading

福山市
東部図書館発行
第57号
2026.10

読書週間 2026 10.27～11.9

静かだけど、冒険中！

『シャクルトンの大漂流』

ウィリアム・グリル／作
千葉　茂樹／訳
岩波書店　【297ク】児童



アムンセンがスコットより先に、人類初の南極点到達に成功した。スコット隊の経験があるアーネスト・シャクルトンは考えた。「のこる偉大な探検はただひとつ。南極大陸横断だ。」

１９１４年８月、シャクルトン率いるエンデュアランス号は、勇敢な隊員たちを乗せ南極大陸へ向かった。成し遂げるべき未知の探検に挑んでいく。

『ラストラン』

角野　栄子／著　　角川書店　【Y913カ】

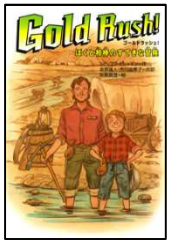


７４歳のイコは夢見がちで冒険したがりぐせがある。もう一度バイクでおもいっきり走りたいと、ツーリングを思いついた。

目的地は幼いころに死別した母の生家がある岡山。古い写真を頼りに着いた家には、一人の少女がいた。ふーちゃんと呼ばれ、写真の母と同じ姿で名前も一緒だ。なぜか気が合った二人の旅が始まる。

『Gold　Rush！』

シド・フライシュマン／作
金原　瑞人・市川　由季子／共訳
ポプラ社　【Y933フ】



１８４９年にカリフォルニアで金が見つかる。一攫千金の夢をつかもうと多くの男たちがこの黄金郷をめざした。

１２歳のジャックは、亡くなった両親の代わりに育ててくれているアラベラおばさまの経済危機を救うため決心する。執事と２人で、ボストンからカリフォルニアに向け長くて危険な冒険へと出発した。

新着案内

書　　名	著 者	出版社	分類
AIはどのように賢くなってきたのか	倉光　君郎	岩波書店	Y007ク
「がんばれない」心で何が起きているか	外山　美樹	筑摩書房	Y140ト
13歳からの犯罪と裁判	二瓶　裕史	メイツユニバーサルコンテンツ	Y320ニ
転校の教科書	松下　雅征	すばる舎	Y371マ
水産・海洋科高校	大岳　美帆	ぺりかん社	Y376オ
大学受験カウンセリング		金子書房	Y376タ
進路に悩む高校生のための受験から考える自分の生き方	山内　太地　ほか	くろしお出版	Y376ヤ
これ1冊で中学3年間の理科がちゃんとわかる教科書	左巻　健男	SBクリエイティブ	Y400サ
マンガで学ぶ生命倫理　続	児玉　聡	化学同人	Y490コ2
気づいたらさわっている！？やめられない人のためのスマホ依存脱出ガイド		工学社	Y493キ
世界一やさしいトラウマ入門	杉山　登志郎	河出書房新社	Y493ス
推しイラスト帳	ひのふ	エムディエヌコーポレーション	Y726ヒ
バスケットボール入門	田中　英夫	ベースボール・マガジン社	Y783タ
中学からの英語のつまずきに準備する本	大中　康弘	カンゼン	Y830オ
５秒後に意外な結末　ペルセポネの百花繚乱の地獄		Gakken	Y913コ
2つの意味の物語　先輩は彼女を狙っていた	ささき　かつお	新星出版社	Y913サ
結末は君のもの	湯浅　八等星	スターツ出版	Y913ユ

電子図書について
パソコンやスマホで本が読める
「福山市電子図書サービス」登録
受付中♪くわしくは近くの
図書館で聞いてみてね。



福山市東部図書館
〒７２１－０９１５
福山市伊勢丘六丁目６番１号
☎（０８４）９４０－２５７５

福山市図書館ＨＰ

古典に恋して



『出来事と文化が同時にわかる平安時代』
伊藤 賀一／監修
朝日新聞出版／編著
朝日新聞出版【210.3テ】

文化を吸収・消化して国風文化が生まれるようになったのは、９世紀後半から１０世紀である。その象徴といえるのが「かな文字」の発達だ。かな文字の普及により和歌は脚光を浴び、在原業平や小野小町と呼ばれる歌人が活躍した。

平安時代の４００年間で起こった出来事を年表で一気に振り返る。



『20 年後』
オー・ヘンリー／作
千葉 茂樹／訳
理論社【Y933ヘ】

夜１０時になろうとするころ、パトロール中の警官は店先に立っている男に気付く。その男は遅い時間に立っているわけを話しはじめる。親友とある約束をした。二十年後のきっかりおなじ日、おなじ時間に会おうというもので、この日を心待ちにしていた。

表題のほか、短編が８つ収録されている。





『君につながる古典教室』
佐藤 透／著
文学通信【Y910サ】

『更科日記』の中で、菅原孝標女は『源氏物語』への強い憧れをつづっている。『堤中納言物語』の「虫めづる姫君」では、高貴な姫が自分の考えを持ち、物事の本質を語っている。

古典に登場するヒロインは、私たちの心を惹きつけてやまない魅力がある。貴族の日常や言葉から、現代と違った感覚や新たな視点が見えてくる。

まだまだあるよ オススメ本

模擬試験や過去問など、どこかでちょっと読んだだけなのに、印象に残っている。作品名は覚えていない。そんなふうに心をつかまれた経験ないかな？

この３冊は、いまを生きる私たちの感覚に寄せた言葉で表現されているよ。ぜひ読んでみてね。



『異聞今昔物語』
森谷 明子／作
偕成社【913モ】児童

『いとエモし。』
koto／訳著
サンクチュアリ出版【Y918イ】

枕草子
万葉集
紫式部日記など掲載





『孟子コンプリート』
孟子／著
野中 根太郎／訳
誠文堂新光社【123.8モ】